

学校だより

No. 10

【学校教育目標】「自ら考え、共に学び合う子の育成」



文責 近藤 卓



暦の上では立春を迎えました。まだ朝夕は冷え込みますが、校舎に差し込む陽の光が、春の訪れを告げています。とは言え、先日の大雪には驚かされました。9日の朝6時前、業者の方に学校敷地内の道路や駐車場を除雪してもらい、それと同時に私たちも除雪作業を始めました。しかし、膝上まで積もる雪で、職員室にたどり着くまでも一苦勞。2台の除雪機を稼働して、歩道や校内の除雪を行い、何とか通学路を確保することができましたが、子どもたちが登校するまで気が気ではありませんでした。いつもより1時間半遅らせての始業でしたが、熊鈴の音を響かせながら元気に登校する子どもたちの顔を見て一安心。大変な一日でしたが、「校長先生、いつも雪かきありがとうございます。」とってくれる子どもたちの声に疲れも吹き飛びました（しばらく全身筋肉痛でしたが…）。

心の鬼を追い出すには…

2月3日（火）は、今年度最後の全校集会がありました。校長の話では、節分にちなみ、鬼の話をしました。

（校長の話より）

節分といえば、豆をまきながら、「鬼は外、福は内」と言います。では、鬼はどこに居るのでしょ。私たちの心の中に居るのかもしれない。学校の中でも、心の痛むような言葉が聞こえてくる場合があります。相手のことを悪く言うとき、その人の心の中には、鬼が顔を出しているのかもしれない。では、どうすれば「心の鬼」を追い出すことができるのでしょうか。その答えは、「想像力」です。「この言葉を言ったら、相手はどんな気持ちになるだろうか。」「自分が同じことを言われたら、どう感じるだろうか。」など、相手の気持ちを想像できる人は、自然と優しい言動がとれるようになります。想像力は、一年中使える「心の豆」です。みなさんに今日からできることを3つ伝えます。

- ①言われて嬉しい言葉を1日1つ増やすこと。
 - ②言われて嫌な言葉を1日1つ減らすこと。
 - ③言葉を発する前に、一度立ち止まって、相手の気持ちを考えること。
- そうすると、心の鬼は小さくなり、心が福で満たされます。



オープンスクール・教育講演会

2月14日（土）のオープンスクールでは、多くのご参観ありがとうございました。この1年間で大きく成長したお子さまの姿を見ていただけたかと思えます。また、教育講演会では、準備等ありがとうございました。目の前で繰り広げられるマジックに、子どもたちは大盛り上がりでした。



ひまわり学級

作った物や調べた事について、クイズにして発表するなど、楽しく交流しました。



さくら学級

卒業制作やプリント学習など、自分の課題に真剣に取り組みました。



1年生「ぼくのはな さいたけど(道徳)」友だちと向かい合い、考えを伝え合いながら、自分の考えを深めました。



2年生「できるようになったこと発表会」

2年生になって出来るようになったことを、一人一人が発表しました。



3年生「お気に入りの場所教えます」

学校でのお気に入りの場所を、エピソードや理由を添えて発表しました。



4年生「熟語の意味」

訓を手がかりに熟語の意味を予想し、国語辞典で確かめながら発表しました。



5年生「カルタ大会」

出石について調べたことをカルタにし、親子で楽しくカルタ大会をしました。



6年生「大切にしたい言葉」

卒業に向けて、自分が大切にしたい言葉について発表しました。



教育講演会「サイエンスショー」

鳩の手品や空気砲など、会場は大盛り上がりでした。

保・幼・小交流活動「体験入学」

2月6日（金）は、出石幼稚園、出石愛育園、合橋認定こども園の園児を招待して小学校の体験入学が行われました。1年生の子どもたちは、一つ上のお兄さん、お姉さんとして、小学校で習う勉強などを優しく丁寧に教えており、頼もしさを感じました。

